

分析機器部門講習会シリーズ

MRM法を用いたタンパク定量の実際

—質量分析装置操作手順について—

LC/MS/MSシステムを用いて対象タンパクを抗体フリーで定量測定する方法を紹介します。抗体デザインの手間や費用を回避できるだけでなく非特異反応を排除でき、同時に複数のタンパクを測定できると期待されています。またiTRAQ試薬によるラベル化サンプルの測定も可能です。講習会ではどのように測定条件を作成するか、データ閲覧方法までを実機を用いて紹介いたします。メーカーアプリケーション担当者による講習会は今回限りとなります。今後、当該機器を用いた測定をご検討の方は、是非この機会にお申し込み下さい。

- 株式会社エービー・サイエックス アプリケーションサポート 青島 理人

内 容 : LC/MS/MSシステムでの標準的なペプチド定量分析

対象機器 : 4000QTRAP (Hybrid Triple Quadrupole Linear Ion Trap MS)

日 時 : 第一回 2011年6月29日(水)
第二回 2011年6月30日(木)
(開催時間は追ってご案内いたします)

受講対象 : 質量分析装置を用いたペプチドの定量分析を検討中の方

定 員 : 各回2~3名程度
(申込者多数の場合は抽選により決定させていただきます)

受講料 : 無 料

申込期間 : 2011年6月9日(木) 正午12時まで

申込方法 : E-mailで、件名を「4000QTRAP講習会」とし、本文に「所属」「氏名」「内線番号」「希望の回」を明記の上、taki@med.nagoya-u.ac.jp宛にお申し込み下さい。



企 画 : 株式会社エービー・サイエックス 芋生 進也

お問い合わせ先 : 名古屋大学大学院医学系研究科 附属医学教育研究支援センター分析機器部門

瀧 健太郎 (Tel:052-744-2406, E-mail:taki@med.nagoya-u.ac.jp)

* Webでも講習会情報を掲載しております (URL:<http://med.nagoya-u.ac.jp/kiki/>)